

# JPDA 3 月定例理事会議事録

日 時：平成28年3月9日（水）午後1時30分～午後4時

場 所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事22名中18名（加藤芳夫、伊藤 透、井上 聡、牛島志津子、  
畝野裕司、江藤正典、小川裕子、加藤和美、加藤憲司、竹内清高、  
田川雅一、永島 学、中森恭平、名久井貴信、信藤洋二、藤田 隆、  
森 孝幹、山崎 茂）

欠席届（梅原 真、菊地泰輔、丸本彰一、八木勇達）

監事2名中2名（池田 毅、島崎英雄）

議事の経過：

定款第31条(議長)により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者18名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、伊藤透副理事長、池田毅監事、島崎英雄監事の4氏であることを確認し、議事に入る。

(決裁事項の議案号数はゴシック。)

## 第1号議案 新入会員入会審査の件

定例の新入会員入会審査に先立ち、現在推進中のキャンペーン「あの人を会員に」で推薦された7名(8名の方から推薦されたが、1名の方についてはダブリ)の方につき、推薦者が理事の場合は理事本人から、その他の推薦に関しては事務局長から推薦書に沿って、推薦の主旨及び作品が紹介された。その後審議に移ったが、今回が初めての試みであり当初想定していなかった、既会員企業メンバーの推薦に関しては、当キャンペーンが会員拡大策の一環であることを踏まえ、加藤理事長の意向で会員企業の方も非推薦者になることが出来ることとした。その際は、非推薦者ご本人と同時に法人の代表者にも推薦文を出状すべきであると言うことになった。とは言うものの、会員企業以外からの推薦が理想である。

今回推挙された下記の7名の方について審議の結果、全員につき満場一致でJPDA協会員を受託いただくべく、推薦状を出状することとなった。

なお現在、調査研究委員会で検討中の法人会員拡大策に関し、検討を極力早めて欲しい旨の要請が加藤理事長からあった。

(1)「あの人を会員に」(7人)

- 阿部 岳(あべ がく) (推薦者=桑 和美)  
金谷 勉(かなや つとむ) (推薦者=中森恭平)  
黒柳 潤(くろやなぎ じゅん) (推薦者=加藤芳夫)  
黒柳 潤(くろやなぎ じゅん) (推薦者=小川裕子)  
小板橋基希(こいたばし もとき) (推薦者=梅原 真)  
笹田陽勇(ささだ ひゆう) (推薦者=森 孝幹)  
松田知寿子(まつだ ちずこ) (推薦者=徳岡 健)  
宮田裕美詠(みやた ゆみよ) (推薦者=畝野裕司)

本日の理事会までに入会申込み法人1社、個人2人、賛助1人があり、定款6条(会員資格の取得)並に会員規定に基づき入会審査を行い、下記の法人1社、個人2人、賛助1人の入会を承認した。

(2)法人会員(1社)

<東日本>

株式会社スタイリングライフ・ホールディングス(推薦者=小川 亮)

(3)個人会員(2人)

<東日本>

今津顕光(いまづ あきひこ) (推薦者=時田秀久)

<中日本>

三田村 敦(みたむら あつし) (推薦者=海野加奈子)

(4)賛助会員(1人)

矢部幹治(やべ みきはる) (エージェント・ハムヤック株式会社)

**第2号議案 退会承認の件**

本日の理事会までに入会届を提出した個人会員1人の退会を承認した。

(1)個人会員(1人)

<西日本>

高橋 篤(一身上の都合により) [平成28年2月末日退会希望]

**第3号議案 正副理事長報告**

加藤理事長、伊藤副理事長から下記の報告があった。伊藤副理事長からジャパンパッキングコンペティション審査におけるJPDA賞は(株)ポーラのポーラB.Aが選出されたこと

が補足された。

また、加藤理事長から「NHK知るを楽しむから」堺屋太一氏の「日本人の美意識の系譜」が資料に沿って案内され、これからの理事会では各役員が持ち時間5分くらいで各々が思うデザインやクリエイティブの話をして欲しいとの要請があった。次回理事会では伊藤副理事長に担当いただくこととなり、以降の担当者は発表者の指名によるものとした。

加藤理事長報告 ・2/5 (公社)日本印刷技術協会「PAGE 2016」オープニング式典  
に山崎事務局長が代理出席。

伊藤副理事長報告 ・1/29 第53回 2016年 ジャパンパッケージングコンペティション  
審査会に審査員として出席。

・4/12 第53回 2016年 ジャパンパッケージングコンペティション  
授賞式にてJPDA賞の授与予定。

#### 第4号議案 平成28年度事業計画(案)及び正味財産増減予算書(案)の承認について

標題の承認案件に関して山崎事務局長から別紙により下記の提案があり、事業計画(案)の文言に一部修正はあったが、出席理事全員の賛同を得て承認された。1月理事会提案時には、支出超過額が1,890,552円だったが、各理事の予算縮減協力で最終的にはプラス205,768円となり、黒字予算にすることが出来た。

経常収益は87,329,648円、経常費用は87,123,880円(公益事業費用は45,703,511円で、公益比率は52.5%)となり、当期経常増減額はプラス205,768円となった。

経常外増減の部では、退職給付積立金支出の500,000円と創立60周年記念公益事業積立金支出2,000,000円を見込み、当期一般正味財産増減額はマイナス294,232円、一般正味財産期末残高はプラス30,101,547円となった。

#### 第5号議案 「理事の職務権限規定(再提案)」及び「委員会規定(追加)」の改訂承認について

山崎事務局長から資料に沿って、12月9日の内閣府立入検査で指摘され1月理事会に提案した規定類につき、「理事の職務権限規定」については条文を修正した改定案が、「委員会規定」については規定を追加した改訂案が提案され、審議の結果、両案とも承認された。

1、「理事の職務権限規定」に第8条を追加し、総則・改訂に関する条項は繰り下げる。

(理事)

第8条 理事の職務権限は、次の通りとする。

(1) 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款の定めるところにより、職務執行理事としての職務を執行する。

(2) 理事は、理事会運営規定第16条に規定する取引をしようとする場合は、その規定に従って、理事会の承認を得なければならない。

(3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(注) 1月理事会提案のアンダーライン部分：「取引をしたときは、その取引の重要な事実を遅滞なく、理事会に報告しなければならない。」から変更した。

## 2, 「委員会規定(追加)」について

※ 1月理事会において、加藤理事長から委員会規定につき下記の提案があった。

現在、委員会の運用に関し、委員長・副委員長を設けて活動しているところもあれば、理事が委員長を兼務しているところもある。そこで、新たに下記内容の規定を設けてはどうかという提案があった(アンダーライン部分)。

(委員の選任)

第3条 委員会を構成する委員は正会員とし、当該委員会を担当する理事が必要人数の委員を選び、任命する。

2 担当理事は、必要に応じて委員の中から委員長及び副委員長を選任することができる。その際、理事長名で委嘱状を発行することができる。

3 担当理事は、選任した委員の氏名及び所属を理事会に報告しなければならない。

## 第6号議案 「新しいJPDA・VI計画マニュアル案のご案内(回覧形式)」について

・田川理事から、作成中の「新しいJPDA・VI計画マニュアル(案)」が回覧形式で案内された。何点か質問があったが、これらを踏まえて更に検討を重ねた案を作成することとなった。

## 第7号議案 事務局へのPC(MacBook Pro)購入の承認について

山崎事務局長から資料に沿って、事務局へのPC(13インチMacBook Pro Retina ディスプレイモデル 256GB 本体：186,624円税込)の導入提案があり、承認された。

## 第8号議案 委員会報告

### <決済事項>

#### ○総務(エクササイズ&コミュニケーション)

・山崎事務局長から、「JPDAエクササイズ&コミュニケーション」について収支計算報告(管理会計)があり、収入680,400円、協会補助0円、支出合計679,936円、収支差額±464円を承認した。

開催日時：平成27年11月9日(月)

開催場所：東京ドーム & 後樂園飯店

出席者数：80名 内訳(会員37名)(非会員36名)(一般7名)

参加者は会員37名、非会員36名、一般7名の内訳で、例年のことではあるが、若い女性の参加が特長となっており、ボーリング、交流会共に元気いっぱいの交流が見られた。これは、エクササイズ&コミュニケーションの特長で、若手の参加を拡大していく方法の一つではないかと考えており、今後も非会員の若いデザイナーへのアプローチを強化することでコミュニケーション拡大に結びつけていきたい。

この件に関し田川理事から、以前はエクササイズ事業に反対していたが、担当理事となり実際に参加してみると大変楽しい企画であるので、皆さんも是非参加して欲しいとのコメントがあった。

#### ○東日本（2016 新年デザイン交換会）

- ・竹内理事から、「新年デザイン交換会2016」について収支計算報告(公益会計)があり、収入183,000円、協会補助90,000円、支出合計213,377円、収支差額+59,623円及び(管理会計)があり、収入992,750円、協会補助0円、支出合計992,000円、収支差額+750円を承認した。

開催日時：平成28年1月29日(金)

第一部 講演会/18:15~19:00「歌舞伎へのいざない」ギャラリー(5F)

講師/葛西聖司(アナウンサー・古典芸能解説者)

第二部 賀詞交換会/19:30~21:30 歌舞伎座 お食事処花籠(3F)

参加者数：講演会 123名(会員122名、招待者1名)

賀詞交換会 186名(会員171名、一般7名、新入会員5名、招待者3名)

開催場所は、日本デザインの研究を意識し、歌舞伎座とした。今話題の隈研吾氏が設計。

“時間の継承”をテーマに歴代の歌舞伎座が担ってきた祝祭空間としての伝統を楽しむことができる空間である。

第一部・講演会はアナウンサー・古典芸能解説者：葛西聖司氏による講演会「歌舞伎座へのいざない」を開催。時代を超えて伝承され続けてきた世界無形遺産の魅力を、歌舞伎がはじめてという方にも分かりやすく解説してもらった。第二部・賀詞交換会は、加藤理事長の挨拶の後、池田監事の乾杯の発声でにぎやかに開会した。

2020年オリンピックに向け、日本デザイン探求へのスタートの年にふさわしい交換会になったのではないかと考えている。

#### ○西日本（2016 新年デザイン交流会）

- ・中森理事から、勉強会つなぐvol.3「資生堂デザインとフォルム&色彩in京都」・新年交流会について収支計算報告(公益会計)があり、収入114,500円、協会補助82,500円、支出合計204,717円、収支差額-7,717円及び(管理会計)があり、収入357,500円、協会補助0円、支出合計357,500円、収支差額±0円を承認した。

開催日時：平成28年2月19日(金) 16:00~19:00

開催場所：京都市 ホテル本能寺 5階 雁(かりがな)

出席者数：77名（会員67名、新入会員3名、一般7名）

今回の講師は、資生堂OBで現在はフリーランスとして活躍中の松本泉氏を招き、31年におよぶ「資生堂のパッケージデザイン」、退社後から「現在までのパッケージデザイン」、そしてアーティストとしての「生命のパッケージデザイン」、この3つの視点から見たパッケージデザインについて語ってもらった。ご本人はイラストレーションの道で生きていこうと思われていたようだが、先輩の誘いで当時プロダクトデザイナーが主流であった資生堂宣伝制作室の中に少し異色な存在として入社されたとのこと。また、今なお続く資生堂の伝統としての欧文資生堂書体の習得には、ひたすら練習あるのみで、その苦勞の中から資生堂の「心」というモノを得ることが出来るとのことであった。最後に、4億年の歴史が作り上げた昆虫の「生命のパッケージデザイン」について熱く語られ、今にも羽を広げそうな昆虫の生命力が伝わる作品に会場内は「おぉー」「うわー」の声が上がっていた。

#### <報告事項>

##### ○国内交流

- ・畝野理事から、10月7日に予定している「金沢デザイン会議」は学生へのアプローチを積極的にやりたい旨が口頭で案内された。

##### ○国際交流

- ・森理事から、10月下旬～11月初旬に予定している海外デザイン事情視察は、アメリカ西海岸のサンフランシスコ or ポートランドを考えていることが案内された。  
また、ASPacに関し北京(2/24～26)、上海(2/26～28)、台北(2/28～3/2)にササダ委員長を含むメンバー5名で訪問したことが、資料に沿って案内された。

##### ○コンペティション

- ・名久井理事から資料に沿って、下記の案内があった。
  - \*会員審査員選挙の開票・集計は4月1日(金)の予定である。  
この件に関し、加藤理事長から投票率をアップさせて欲しい旨の要請があった。
  - \*特別審査員に関しては4名の内、3名の承諾が得られているが、あと1名については現在調整中とのことであった。
  - \*応募作品の「販路分け」については
    - ①応募者申請に関しては、応募票で「販路選択」が出来るように設定する。
    - ②審査会フローでは、「一次審査」「二次審査(予備審査)」までは、販路分けをして審査。
  - \*「医薬品」カテゴリーは、今回は別カテゴリーとして設定したい。一つのカテゴリーとすることで応募数が増えることを期待している。

\* カテゴリーの設定に関しては、「対面販売品」「贈答品・詰め合わせ品」の定義で難航しているが、応募要項には検討結果を反映させたい。

#### ○展覧会

- ・牛島理事から、「日本を包む展」への応募要請があった。この件に関し、加藤理事長から「八種類の言葉」では少ないのではないかと質問があったが、牛島理事からカテゴリーに幅を持たせて創意工夫して欲しい旨の要請があった。

#### ○出版

- ・山崎理事から、「パッケージデザイン・インデックス」は 5月20日発刊予定であることが案内された。

#### ○教育

- ・山崎理事から、次回開催に向けての打合せを昨日(8日)持ったことが案内された。

#### ○インターネット

- ・江藤理事から、展覧会サイトを作成中であること及びフェイスブックの継続活用の必要性が案内された。

#### ○総務

- ・田川理事から、「新しいJPDA・VI計画のマニュアル(案)」を作成中であることが案内された。

#### ○アーカイブ

- ・信藤理事から、「日本デザイン学会 第63回春季研究発表大会」7/1～3日 長野大学において、「D-8とジャパン・デザインミュージアム設立研究会の概要」が発表されることが案内された。

#### ○デザイン保護

- ・伊藤副理事長から資料に沿って、デザイン保護委員会の報告資料が案内された。

#### 1、HP委員会レポートページの更新

2月15日【V o 1. 76】

- ・情報発信「パッケージデザイン保護に新風！ -新しい商標-」  
松井 宏記 弁理士（レクシア特許法律事務所）
- ・活動報告 委員会内部勉強会「新しい商標ってどんなもの？」  
報告：JPDAデザイン保護委員会委員/川淵 満
- ・委員会ヒトコト通信

「質問・意見交換が気軽に出来る勉強会」について

3月下旬【V o 1. 77】「パッケージデザインを戦略的に保護するには？」(仮)

-意匠権と立体商標の活用法-

## 2、第7回デザイン保護委員会実施

2月18日(木) 18:30~20:30 於:JPDA事務局会議室

### 議事録概要

#### 議事1. 次年度の活動について

- ・協会員及び一般に向けて、「デザインと知的財産権」についての情報を協会HPに委員会レポートとして継続公開し、共に学習する場として、セミナーを実施していく。

議事2. ウガイ薬の侵害事件の件、資料を基に意見交換をした。

※上記の詳細は、インターネットホームページで確認ください。

#### ○調査研究

- ・加藤憲司理事から資料に沿って、3月17日(木)に開催されるセミナー「売れる特産品はこうして作られる」の案内があった。

この件で、先だって配布されたレポートに関し正副理事長から、編集の仕方についてもう少し検討してもらいたかった旨の要請があった。桑理事・加藤理事からは、事実の列記に留まってしまった旨の反省のコメントがあった。

#### ○東北プロジェクト

江藤理事から、東北の学生たちにASPaCの事業展開を紹介することで、今後の東北における活動の参考事例としてもらおうという企画を篠原教授(東北工業大学)と調整している旨が案内された。

#### ※その他

- ・桑理事から、展覧会やコンペティション等に応募された方の個人情報の活用に関しての打診があったが、個人情報の取り扱いが厳しくなって以降、個人情報の使用が限定され、その他での活用は出来なくなっているため取扱は慎重にすべきという結論に至った。

#### 第9号議案 事務局報告

山崎事務局長から下記の報告があった。

- ・平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)、平成27年度事業報告及び収支決算の作成・承認に関してのスケジュールについて

#### 第10号議案 次回臨時理事会開催スケジュール

日時:平成28年4月13日(水) 午後1時30分~5時

場所:文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室A

東京メトロ丸の内線・南北線「後楽園」駅前

議題:定例議題に加え、平成27年度事業活動報告及び収支決算報告承認の件。